

森のたより 秋

郷戸・岡・宮戸緑地等の保全活動と季節の風景、想いを綴ります。

絵・おおきみさ=宮戸緑地のオニユリ

緑地の 四季

岡緑地の紅葉を一緒に観ませんか？

松永健司

朝霞は埼玉県屈指の湧水の街です。(※1)

『えっ！そうなの!?』『色々な所に湧水あるよね！』と意見が分かれる問いでしょうか？

私たちは市内3カ所の斜面林で活動を行っていますが、2カ所には湧水があります。このうち岡緑地の湧水は水量豊富で住宅街のU字溝を通して黒目川に流れ込みます。黒目川は上流の新座市や東久留米市からも多くの湧水が流れ込んで作られています。湧水の水温は年間を通してその地の平均気温くらいで一定し、低く保たれています。比較的低い環境を好む鮎は黒目川に遡上してきます。

その黒目川の水は新河岸川に入ります。人の暮らしに水は欠かせません。時代を遡ると、市内では黒目川沿いに縄文・弥生遺跡が発掘されています。その当時から人の営みがあったことが分かりますが、この地域が特に栄えたのは江戸時代です。江戸と川越を結ぶ新河岸川の舟運が発達し、物流の要衝として300年ほどの間、人の暮らしを支えてきました。

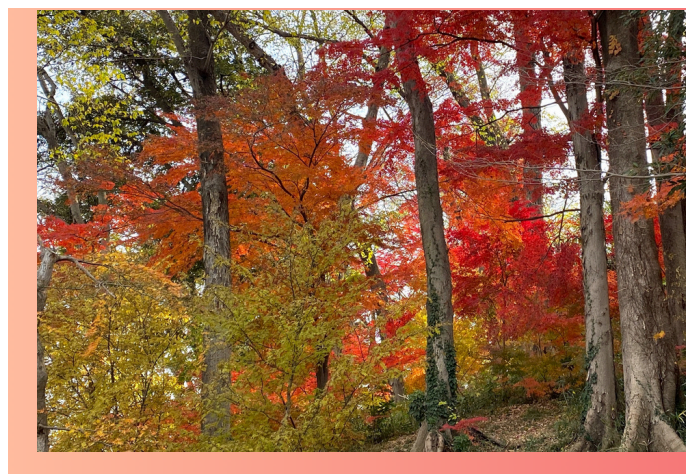
江戸時代の朝霞は、豊富な水を利用して水田や畑などの耕作が営まれていました。また、農耕とは別の一面もあります。三代将軍家光の時から200年に渡り鷹狩りの場として使用されていた記録が残されています。当時の絵には鴨や白鳥、鶴などが描かれ

ています。また、ヨモギやハコベ、スギ等の植物、コウモリやカエル、ケラなどの生きものが、鷹のエサ等として幕府に上納されていました。当時は草地や湿地の風景が広がっていたと思われます。

明治後期から大正、昭和にかけて生活に大きな変化があります。1914年(大正3年)に東上線が開通します。これを契機に新河岸川の舟運は幕を下ろすことになります。鉄道は朝霞を東京からの行楽地に変えました。武蔵野の入口としてハイキング、芋掘り、ゴルフなどで賑わうことになりました。

1932年(昭和7年)には膝折村から朝霞町に名前を変えます。その頃、岡の崖と湧水を利用して作られた池、地形を活かした料亭が営まれました。文人墨客が集まり、武蔵野の風情を楽しんだ高級料亭『朝霞溪』です。この料亭のあった場所が冒頭に触れた現在の岡緑地です。池に建っていた東屋や水車、料亭は現存しませんが、湧水の池や崖にあしらわれた溶岩、竹林が残っており、当時の風流人達が見た景色を垣間見ることができます。

先人達が暮らし、築きあげてきた自然との共生空間は『里山』と呼ばれ、生物の多様性を維持しています。自然環境は不可逆的で一度壊れたら元には戻りません。私たちは毎月一回下草刈り、竹・樹木の間伐、剪定等の保全活動を行っています。森の中は四季折々の風景を見せてくれます。春には、ニリンソウやヤマブキソウが咲き、秋にはモミジが紅葉します。普段はフェンスで囲まれ立入が制限されていますが、12月の『モミジを観る会』開催時には中に入ることができます。昭和の初期に文人達が眺めた池と紅葉の景色に思いを馳せながらモミジの森を散策しませんか？



岡緑地の紅葉

参考資料 朝霞市博物館発行「第26回企画展 鷹狩りと朝霞」
「第33回企画展 朝霞町へ行楽に～ゴルフ場があった頃～」

※1 埼玉県HP「埼玉県内の湧水地について」を参照



名無しのゴンベイ

地球が壊れる。人新世（ヒトシンセイ）—ヒトの活動が地球環境に重大な影響を与え、その度合いは、いよいよ増してきた。戦争、気候変動、AI、そして化学物質による汚染…。

『沈黙の春』（1962）※1は、米国の海洋生物学者がDDT※2の環境への影響を告発した。有機塩素系の殺虫剤、農薬としても重宝された。この物質で多くの昆虫が死滅し、その昆虫を餌にした鳥類も絶滅に瀕した。この書は、がん発生の増加と合成化学物質との因果関係を膨大な研究報告をもとに検証し、世界に衝撃を与えた。

DDTは1970年代に国内での使用は禁止されたが、50年を経た今でも土壌から検出される。こうした化学物質の最大の問題は、その「残留性」にある。分解されずに環境中に長期間留まることで、種々の生物に世代を超えた影響を及ぼす。

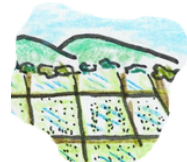
1992年に、ブラジルで「地球サミット」※3が開催された。『アジェンダ21』※4は、「生物多様性」と同時に「有害かつ危険な製品の不法な国際取引の防止を含む有害化学物質の環境上適正な管理」を求めた。国内では99年には環境基本法が成立し、2001年に環境省が発足した。気候変動、廃棄物・化学物質規制など環境政策が重要性を増している時期だった。

しかし、それから25年…。国内に持ち込まれ、製造された化学物質の数は膨大であり、「現在国内で流通している化学物質は、工業的に生産されているものだけで数万種に及ぶ」※5。その組成の多くが企業秘密だ。新自由主義が跋扈（ばっこ）する現代は、ヒト中心ではなく企業のリエキ優先なのだ。

水質汚濁防止法、土壌汚染対策法、大気汚染防止法による有害物質の指定は数十種類にとどまる。化管法※6による化学物質の指定は650物質ほど。労働安全衛生法が指定しているがん原性（発がん）物質は200物質ほどだが、これとて、氷山の一角でしかない。

気が付けば「日本人の二人に一人が癌にかかる」時代だというが、「病気」の多くが、実はヒトが作り出した化学物質や放射性物質の影響なのかもしれない。要は、避けるに越したことはない、ということだ。

※1 レイチェル・カーソン ※2 ジクロロジフェニルトリクロロエタン ※3 環境保全と持続可能な開発をテーマとした国連の国際会議 ※4 21世紀にむけた国際行動計画 ※5 「化学物質と環境」（2024 環境省） ※6 化学物質排出把握管理促進法



豊田 根岸台八丁目

朝霞の環境？ 緑地・湧水・畑・川・田んぼ・祭り・宇宙アサガオ…イロイロです。色々あってまとまらないので「環境」にとらわれず今の自分の思いをダラダラと書きます。

天気が気になるので、毎日、天気ニュース・日の出時刻・雨雲レーダー等を見ます。そして日の出の位置とオレンジ色の朝日を見て一日のスタートとしています。日の出の位置は春夏秋冬一定の位置を行ったり来たりしています。まさに宇宙船地球号です。何万年、何億年繰り返されています。

人の争い、戦争も繰り返されています。戦争に英雄はいません。勝ったほうも負けたほうも傷が残ります。早く終戦にして人々が安心して日の出を見られる日が来ることを願ってやみません。

人は万物の長！？ではなぜ戦争・殺し合いになるのか？ 夢。争いのない世界、区別があっても差別のない世の中。人、足りて礼節を知る…ハズが「もっと、もっと」とどん欲になるは宜しからず。

國破山河在 城春草木深

（国破れて山河在り 城春にして草木深し）

やがて人が戻って耕し、畑を作り住み始める。命の循環、つながりのある自然はすばらしい。癒しと活力の源です。そんな場所を朝霞で探してみませんか。

【定例活動】

郷戸緑地：第1火曜日 / 9時～12時

岡緑地：第2火曜日 / 9時～12時

宮戸緑地：第4土曜日 / 9時～12時

※12月26日（土）の宮戸緑地活動はお休み



【イベント案内】

《黒目川クリーンイイド》

11月29日（日）10時～

場所：浜崎黒目橋

《岡緑地の紅葉を見る会》

2026年12月8日（火）

10時～12時ごろ

場所：岡緑地

参加費：100円（保険代含む）／先着20名

《全国一斉ガソリン調査》

2027年1月11日（月）

8時～13時ごろ

こえとがね

《越戸川エコ探検》

2026年12月13日（日）

9時～15時ごろ

場所：広沢の池～

和光市赤池親水公園

参加費：100円（保険代含む）／先着10名

※自然保護活動・川の再生事業の現場を歩いてお話をうかがいます。

詳しくはホームページをご確認ください。

申込：halgenki@gmail.com
（松永）

